

報道資料

本リリースは、株式会社 UBIC および RSA セキュリティ株式会社の
共同リリースです。重複して配信されることがありますが、あらかじめご了承下さい。

報道関係各位

2009年11月5日

株式会社 UBIC

RSA セキュリティ株式会社

セキュリティ・インシデント兆候検知による予防・抑止支援と 有事の際のアカウントビリティー対策支援まで、広範にお客様を支援

～コンピュータフォレンジック調査サービスの UBIC と統合ログ管理の RSA セキュリティが提携～

株式会社 UBIC(本社:東京都港区、代表取締役社長:守本 正宏、以下「UBIC」)と、RSA セキュリティ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:山野 修、以下「RSA セキュリティ」)は、情報漏えいや不正アクセスなどにおけるコンピュータフォレンジック調査とセキュリティ強化に関して提携しました。

UBIC は、情報漏えいや不正取引などに起因するインシデントの調査大手で国内最大規模のフォレンジック調査士部隊を有しています。RSA セキュリティは、国内で 170 社の導入実績を持つ統合ログ管理製品「RSA enVision」や認証強化製品などのセキュリティ対策製品とサービスを提供しています。

異なる分野で強みを持つ両社が提携することにより、UBIC の顧客は、RSA セキュリティの統合ログ管理の導入や各種リスクに対応したセキュリティポリシーの見直しや策定支援により、インシデント発生の危険性を低減できます。一方、RSA セキュリティの顧客は、UBIC による危機管理体制の構築やインシデント発生時の初動対応、調査などを速やかに依頼でき、ダメージの軽減と企業価値の向上に繋がります。

両社の顧客は、IT システム上の複数種類のログを相関分析して得られるセキュリティ・インシデントや障害の兆候の検知から、不正操作や情報漏洩発生など有事における調査、説明義務、訴訟に対するコンサルティングまで、幅広い支援体制を整えることが可能となります。

今後、UBIC と RSA セキュリティは、セミナーなどの活動を通じて、コンピュータフォレンジック調査とセキュリティ強化の必要性と対応を紹介していきます。

第一弾として 11 月 5 日、「エンドユーザー様限定！『情報漏洩事件・事故から学ぶ、事故前提社会の危機管理体制とは？』」と題した共同セミナーを開催し、情報漏洩リスク管理の勘所と IT コスト削減事例、事故前提社会の危機管理体制構築について、事例を交えて紹介します。

UBIC セミナー情報 URL : <http://www.ubic.co.jp/marketing/seminar/>

RSA セキュリティ セミナー情報 URL : <http://japan.rsa.com/node.aspx?id=3690>

以上

●UBIC のコンピュータフォレンジック調査サービスについて

UBIC では、インシデント・レスポンスとして、企業活動における様々な不祥事の不正調査を行っております。

日本でも内部統制の取り組みが始まり、情報漏洩や不正取引といったインシデントが発生した際には迅速にその結果を調査し、ステークホルダーをはじめとする人々に対して、客観的な事実を説明する必要性が生じています。現在、企業活動の多くはコンピュータを利用して行われているため、コンピュータ内にはエビデンス（証拠）が含まれていますが、デジタルデータだけでは、実際に何が行われたのか多くの人には判断できません。

UBIC では 20 名以上からなる国内最大規模の UBIC フォレンジック調査士部隊が、コンピュータの端末やサーバ等に残されたデジタルデータを完全な形で「証拠保全」。また、セキュアな環境である UBIC のフォレンジック専門ラボにおいて調査・解析・報告書作成を実施し、企業様のダメージコントロールやクライシスマネジメントを強力にサポートします。

不正調査の観点から、粉飾決算・不正会計・横領・知的財産侵害等、様々な不正調査のほか、Winny 等による企業活動における情報漏洩に対するサービスを実施しております。

●RSA セキュリティの統合ログ管理アプライアンス RSA enVision について

企業内のシステムを構成する様々なネットワーク機器、セキュリティ機器、ファイルサーバー、データベース・サーバーやアプリケーション・サーバーなどの IP デバイスから生成されるログの一元的な管理とリアルタイム分析やアラート、レポートを実現する統合ログ管理アプライアンスです。

●株式会社 UBIC について

代表取締役社長:守本 正宏 東京都港区港南 2-12-23 明産高浜ビル 7 階

URL: <http://www.ubic.co.jp>

株式会社 UBIC は、電子データ中心の調査を行なうコンピュータフォレンジック調査サービスや、法的紛争・訴訟の際に電子データの証拠保全及び調査・分析を行う国際訴訟対策支援(ディスカバリー支援サービス)を提供する、リーガルハイテクノロジー総合企業。アジア言語対応能力では世界最高水準の技術と、アジア圏最大の処理能力を有するラボを保有。2007 年 12 月米国子会社を設立。アジア・米国双方からアジア企業関連の訴訟支援を実施。2003 年 8 月 8 日設立。2007 年 6 月 26 日東証マザーズ上場。資本金 451,193,750 円(2009 年 10 月 7 日現在)。

●RSA セキュリティ株式会社について

RSA セキュリティは、情報セキュリティ・ソリューションのリーディング・プロバイダーとして「情報中心のアプローチ」を提唱し、企業が抱えるセキュリティやコンプライアンスの課題解決を支援し、適切な対策を提案します。情報を、そのライフサイクルを通じて保護し、企業における情報漏えい対策やコンプライアンス遵守の実現を支援します。認証とアクセス管理、統合ログ管理、データ損失防止、暗号化と鍵管理、オンライン・サービスの保護を実現する製品とサービスを提供し、世界中の何百万人の個人情報、トランザクション、生成される情報を保護しています。

※文中に記載されている製品名及び会社名は、各社の商標または登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 UBIC

営業部 岡田 大輔 (Tel : 03-5463-7577 E-Mail : ubic_marketing@ubic.co.jp)

RSA セキュリティ株式会社

エンタープライズ営業本部 RSA enVision 営業部 (Tel : 03-5222-5230 E-Mail: info-j@rsa.com)